

政策番号	7	政策分野	スポーツ							
基本方針	「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツやレクリエーションに親しめる環境を、みんなで支え合うまちづくり」を関係団体（地域のスポーツボランティア団体、競技団体、学校、企業など）や指定管理者と行政が一体となって進める。そのことにより、市民ひとりひとりがスポーツやレクリエーションそのものを楽しむことはもちろん、健康や感動など市民生活に豊かさをもたらすとともに、環境、教育、観光、経済などさまざまな分野の京都のまちづくりをより魅力あるものにする。									
担当局	文化市民局		共管局							
政策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画									
政策の評価										
1 客観指標評価										
政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成30 令和元	令和2年度評価					
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合（％）	48.4	65%以上	c	c	42.5	45.6	63.3	72.0%	c
2	市内で直接スポーツを観戦した市民の割合（％）	24.4	50%以上	b	c	35.8	30.8	47.4	65.0%	c
3	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合（％）	3.1	10%以上	d	e	3.8	4.6	9.3	49.5%	e
				c	d					d
施策の客観指標評価					評価					
施策番号	施策名				平成30	令和元	令和2			
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）（1指標）				b	b	b			
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）（1指標）				a	a	a			
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）（1指標）				b	b	c			
(3施策平均)				a	a	b				
政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価＝1:0.5)					平成30	令和元	令和2			
					b	c	c			
2－1 市民生活実感評価										
番号	設問				評価					
					平成30	令和元	令和2※			
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。				c	c	-			
2	プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。				d	d	-			
3	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひが増えている。				c	c	-			
政策の市民生活実感調査総合評価					c	c	-			

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	C	令和元	C	令和2	C	政策の目的がそこそこ達成されている
------	---	-----	---	-----	---	-------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・「週1回以上運動やスポーツをする市民の割合」は増加したものの、「スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合」が伸び悩んでおり、また、市民が直接スポーツを観戦する主要な機会となる「京都マラソン2020」が雨天実施となったことなどが影響し、「市内で直接スポーツを観戦した市民の割合」も減少したことから、総合評価は昨年度と同じくc評価となった。

【市民生活実感調査総合評価】

☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・スポーツに関わることができるような機会・場所の提供・周知が十分でないため、c評価で推移していると考えられる。

【総括】

・市民がスポーツ等に関わることができる機会や場所の提供に着実に取り組んでいるものの、スポーツ等を実際にする・見る・支える人口の拡大については、未だ目標に届いておらず、総合評価はC評価となった。客観指標の目標達成や市民実感の向上に向け、引き続き取り組む必要があるが、総合的に判断して政策の目的は「そこそこ達成されている」と評価できる。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)	C	C	C
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)	C	C	C
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)	C	C	C

<今後の方向性>

①それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり

・誰もが年齢、個性、環境に応じて、また、新しい生活スタイルに適応し、安全・安心にスポーツやレクリエーションを楽しむことができるように、スポーツ施設の計画的な改修、整備、運営に取り組むとともに、体育振興会や競技団体、指定管理者等と連携しスポーツイベント等の開催、周知に取り組む。さらに「スポーツウェル京都」等のホームページやSNS等も活用した効果的かつ分かりやすい情報発信を行う。

②トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり

・新しい生活スタイルに適応しつつ、プロスポーツはもとより様々なスポーツに身近に触れるための環境整備や、国際的又は全国規模のスポーツイベントの開催及び誘致促進、競技スポーツの支援などに取り組む。また、本市スポーツ施設で更に多くの大規模な大会が開催されるように、競技・観戦に必要な設備・備品の更新を進め、競技観戦環境の維持向上を図っていく。

③多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり

・新しい生活スタイルに適応したスポーツ活動を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、スポーツの魅力やボランティアの意義を発信することにより、各種スポーツ関係団体や企業、大学、NPOなどと連携協力し、「支えるスポーツ」の更なる振興を目指す。

④次期「京都市市民スポーツ振興計画」の策定

・市民アンケートや関係団体ヒアリング等を実施し、現行計画での課題分析を行うとともに、スポーツ振興を更に推進していくための次期計画を国の次期計画策定を見据え、令和3年度中に策定する。

政策名	7	スポーツ			
指標名	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合（％）				
担当部屋	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6－0 1 6 8	
1 指標の説明					
週1回以上運動やスポーツをする市民の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
「するスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標			算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に週1回以上運動やスポーツをしたことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当調べ		
4 数値					
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	48.4	65%以上	京都市市民スポーツ振興計画		
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	42.5	45.6	3.1ポイント増	63.3	平成22年度現況値(48.4%)と令和2年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		平成30 令和元 令和2
					C C C

指標名	市内で直接スポーツを観戦した市民の割合（％）				
担当部屋	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6－0 1 6 8	
1 指標の説明					
市内で直接スポーツを観戦した市民の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
トップレベルのスポーツをはじめ様々なスポーツイベントに身近に触れられ、「みるスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標			算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に市内で直接スポーツを観戦したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当調べ		
4 数値					
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	24.4	50%以上	京都市市民スポーツ振興計画		
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	35.8	30.8	5ポイント減	47.4	平成22年度現況値(24.4%)と令和2年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		平成30 令和元 令和2
					b c c

政策名	7	スポーツ					
指標名	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合（％）						
担当部署	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6－0 1 6 9				
1 指標の説明							
スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
市民の間で多様なスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標（支えるスポーツ）		算出方法：18歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にスポーツ活動に運営ボランティアとして参加したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当調べ					
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	3.1	10%以上	京都市市民スポーツ振興計画				
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	3.8	4.6	0.8ポイント増	9.3	平成22年度現況値（3.1%）と令和2年度目標値から当該年度達成すべき数字を等差的に算出	49.5%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-			-			
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a:100%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満		当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2	
				d	e	e	